

# 2024 年度 日本心臓財団事業報告

## I. 個人研究に対する助成事業（別添対象者一覧参照）

### 1. 第 50 回日本心臓財団研究奨励

奨励金額：1 件 200 万円を 10 件

応募資格：1984 年 4 月 1 日以降に生まれた者

応募数：35 件

### 2. 第 5 回日本心臓財団拡張型心筋症基礎研究助成（I 基金）

助成金額：1 件 200 万円を 2 件

応募数：7 件

### 共 通

応募受付：2024 年 9 月 1 日～10 月 15 日

選考委員会：2025 年 1 月 6 日

決定通知：2025 年 1 月

贈呈：2025 年 3 月 30 日 第 89 回日本循環器学会学術集会（会長：室原豊明 名古屋大学循環器内科学教授）にて実施

選考委員　辻田 賢一 熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学教授

　　笹野 哲郎 東京科学大学循環器内科学教授

　　武田 憲彦 東京大学大学院医学研究科循環器内科学教授

　　中野由紀子 広島大学大学院医系科学循環器内科学教授

　　彦惣 俊吾 奈良県立医科大学循環器内科学教授

　　日比 潔 横浜市立大学医学部循環器内科学教授

　　松村 貴由 自治医科大学分子病態研究センター教授

　　南野 哲男 香川大学医学部循環器・腎臓・脳卒中内科学教授

　　湊谷 謙司 京都大学大学院医学研究科心臓血管外科学教授

　　渡辺 昌文 山形大学医学部内科学第一講座教授

## II. 研究者の留学費用に対する助成事業（別添対象者一覧参照）

### 1. 第 2 回日本心臓財団・日本循環器学会海外留学助成

循環器疾患の研究に携わるわが国の研究者が海外の研究機関に留学するため助成

助成金額：1 件 500 万円を 2 件

応募資格：満 40 歳未満で日本循環器学会に 5 年以上在籍

応募受付：2024 年 10 月 1 日～12 月 13 日

発表：2025 年 3 月 29 日 第 89 回日本循環器学会学術集会（会長：室原豊明 名古屋大学循環器内科学教授）にて実施

助成対象者：岩田 樹里（慶應義塾大学病院）

　　西村 俊亮（大阪大学大学院医学系研究科・循環器内科学）

## III. 学会および研究会に対する助成事業

### 1) 第 46 回美甘レクチャー（日本循環器学会特別招聘講演）

2025 年 3 月 29 日 第 89 回日本循環器学会学術集会（会長：室原豊明 名古屋大学循環器内科学教授）にて講演

### 2) 第 36 回日本循環器病予防セミナー

2024 年 7 月 27 日・8 月 3・4 日 WEB、

8月 23~25日 東北大学東北メディカル・メガバンク機構  
実行委員長 審澤 篤（東北大学公衆衛生学教授）

3) 第8回日本心臓財団シンポジウム  
2025年3月30日 第89回日本循環器学会学術集会（会長：室原豊明 名古屋大学循環器内科学教授）にて開催

#### IV. 共同臨床研究等に対する助成事業

1. 虚血性心疾患に関する研究
  - 1) 冠微小循環障害に関する全国多施設共同研究  
代表 下川宏明（国際医療福祉大学副学長）
2. 心不全に関する研究
  - 1) 慢性心不全患者に対する薬物治療に関する実態調査  
代表 筒井裕之（国際医療福祉大学副学長）
  - 2) 慢性心不全治療において利尿薬が左室拡張能に及ぼす影響の検討  
代表 増山 理（兵庫医科大学名誉教授）

#### V. 個人または団体に対する褒賞事業

1. 第50回日本心臓財団佐藤賞  
2025年3月29日 第89回日本循環器学会学術集会（会長：室原豊明 名古屋大学循環器内科学教授）にて贈呈  
受賞者：野村 征太郎（東京大学医学部附属病院循環器内科先端循環器医科学講座 特任准教授）  
研究主題：シングルセル解析による循環器精密医療の発展
2. 第13回「心臓」賞の贈呈  
2025年3月29日 第89回日本循環器学会学術集会（会長：室原豊明 名古屋大学循環器内科学教授）にて贈呈  
受賞者：【症例部門】最優秀賞 児玉圭太（磐田市立総合病院 循環器内科）  
寺中若菜（住友病院 循環器内科）  
優秀賞 山科順裕（仙台市立病院 循環器内科）  
【研究部門】最優秀賞 小林美穂（北海道循環器病院 臨床検査科）  
優秀賞 松元一郎（KKR 高松病院心臓血管病センター）
3. 第49回日本心臓財団草野賞  
2025年3月7日、第50回日本脳卒中学会学術集会（会長：豊田一則 国立循環器病センター副院長）にて贈呈  
受賞者：石山 浩之（国立循環器病センター病院脳神経内科）  
研究主題：出血指向型 CADASIL の提唱：NOTCH3 p.R75P 変異による低い NOTCH3 凝集特性
4. 第39回日本心臓財団予防賞  
2024年5月11日、第60回日本循環器病予防学会総会（会長：大久保孝義 帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 主任教授）にて贈呈  
受賞者：佐藤 真一（千葉県衛生研究所技監）
5. 第20回日本心臓財団小林太刀夫賞

2024年5月11日、第60回日本循環器病予防学会総会（会長：大久保孝義 帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 主任教授）にて贈呈  
受賞者：宮城県登米市市民生活部健康推進課  
研究課題：健康診査会場でナトリウム・カリウム比を測定した宮城県登米市の7年間の取り組み

#### 6. 第3回日本心臓財団研究褒賞

2025年3月30日 第89回日本循環器学会学術集会（会長：室原豊明 名古屋大学循環器内科学教授）にて贈呈  
受賞者：【基礎部門】安達 裕助（東京大学医学部附属病院循環器内科）  
【臨床部門】樋口 諭（東京女子医科大学循環器内科）  
山下 侑吾（京都大学医学部附属病院循環器内科）

### VI. 広報啓発事業

#### 1. インターネット等による心血管病関連啓発活動

1) 日本心臓財団ホームページを中心とした活動  
一般向けにはセカンドオピニオンによる相談をはじめ心臓血管病に関する正しい知識の普及、講演会・健康イベントの案内を、医師・研究者向けには循環器最新情報、研究助成の募集案内等医学関連情報を提供。  
ホームページアドレスは、<https://www.jhf.or.jp/>  
年間アクセス数は、コロナ禍の中、基礎疾患や胸痛などの検索によるアクセス数が急増し、年間では1,266万件でした（Google Analytics）。  
セカンドオピニオン相談数は年間870件。

2) ACジャパン支援キャンペーン「なかやま検脈！」（心房細動の早期発見）  
TVCM、ラジオ、新聞広告、交通広告、ポスター

#### 2. 市民公開講座の共催および後援

1) 市民公開講座「"しなやか"な血管と生きる」  
(第60回日本循環器病予防学会との共催)  
Web公開（2024年5月7日～2025年1月6日）  
2) 市民公開講座「心臓病・脳卒中 ならないために、もしものために」  
(主催：東京 脳卒中・心臓病等総合支援センターを後援)  
2024年11月30日（土）都庁  
3) 市民公開講座「もっとわかる！心臓病 進む治療～心臓弁膜症と心筋梗塞～」  
(主催：NHKエデュケーションを後援)  
2024年12月8日（日）ハイブリット開催

#### 3. 「健康ハートの日」活動

現在、健康ハートの日キャンペーンを日本心臓財団、日本循環器学会、日本循環器協会、日本AED財団の4団体にて共催し、市民啓発運動の大きな柱としている。本年は、「健康ハートの日2024」として、7月から9月までさまざまなイベントを実施した。昨年に続き、人気サッカー漫画『キャプテン翼』（作・高橋陽一）の三杉淳（心臓病を持つ天才サッカー選手）をメインキャラクターとして使用し、スポーツと心臓病を中心に広く啓発活動を行った。

- 1) 「健康ハートの日」サイト更新  
<https://www.kenko810.com/>  
日本心臓財団のホームページとは独立して作ったサイトにて、イベントの告知や報告を行った。
- 2) Jリーグ・コラボイベント（味の素スタジアム、ニッパツ三ツ沢球技場、他）

30周年を迎えたJリーグとコラボし、12カ所のスタジアムにて啓発ビデオの上映やブースでの啓発活動を行った。

3) 第5回健康ハート・シンポジウム

2024年9月29日に一般市民・メディアを対象に、「ほめてあげよう　自分のハート　スポーツがもたらす健康ハート」と題して仙台国際センターにてシンポジウムを開催。

4) すごいぜ心臓「夏休み自由研究　ハートの応援団」

2024年7月21日に小学生向けのオンライン授業を実施した。168名の小学生がオンライン参加した。

5) 全国でPUSH!

2024年8月10日に大阪、奈良、オンライン会場をウェブでつなぎ講習会のほか、8月に全国各地で心肺蘇生法の短時間講習（PUSHコース）を実施した。

6) 全国健康ハート・ライトアップ

全国50カ所の都道府県施設、名所、医療機関などが、8月10日にハート色（赤色）のライトアップに参加した。

そのほか、医師を目指す若者向けオンライン番組配信、全国保険薬局協力「血圧を下げよう」患者さん向けセミナー等を実施した。

4. 禁煙推進活動

- ・2024年5月31日、厚生労働省主催2024年世界禁煙デー記念イベント後援。
- ・禁煙推進学術ネットワークの啓発活動支援。

5. AED・心肺蘇生普及活動

- ・PUSHプロジェクト（AEDおよび胸骨圧迫のみの心肺蘇生法の普及啓発活動）の推進
- ・AED20周年企画実行委員会への参画とシンポジウムの実施（日本AED財団、日本救急医療財団等、AED普及啓発関連団体が集結し、市民がAEDを使用できるようになってちょうど20年の節目として、シンポジウムをはじめとする様々な活動を行った。

6. 患者団体・予防活動団体への協力

日本心臓ペースメーカー友の会、全国心臓病の子どもを守る会、川崎病の子供をもつ親の会等事業への協力。

7. 日本川崎病研究センター事業への協力

8. 月刊誌「心臓」の発行（日本循環器学会との共同発行）

2020年1月号より、小室一成新編集委員長のもと新たな編集委員とともに誌面を大幅リニューアルし、本年度も様々な企画記事を掲載し発行しました。

9. 機関紙の発行

心臓財団季報として年4回発行しました。

## 令和6年度日本心臓財団研究奨励 対象研究者

日本心臓財団では、循環器領域の研究に携わる少壮研究者を対象に研究助成を実施しています。本年度は、第50回日本心臓財団研究奨励に35名、第5回拡張型心筋症基礎研究助成(I基金)に7名の応募申請があり、その中から以下のとおり助成しました。

### 第50回日本心臓財団研究奨励

(五十音順・敬称略・奨励金額は各200万円)

番号	氏名	所属	研究課題
1	秋葉庸平 (34歳)	慶應義塾大学医学部循環器内科 助教	血管内皮細胞を介した心不全に対する新規治療法開発
2	池田真也 (35歳)	滋賀医科大学薬理学講座 特任助教	がん遺伝子パネル検査によるがん関連血栓症に対する個別化医療の実現を目指す研究
3	角田宇司 (37歳)	国立循環器病研究センター 心臓血管外科学部門心臓外科	遺伝子発現に基づく心房リモデリングの推定とメイズ手術成功率の予測
4	川端良 (33歳)	神戸大学医学部附属病院 心臓血管外科学分野 特定助教	細胞を播種した小口径人工血管の研究 -AkaBLIシステムを用いた細胞動態評価-
5	小泉滋樹 (38歳)	国立循環器病研究センター研究所 リサーチフェロー	圧負荷応答分子Thrombospondin-1の胸部大動脈における細胞特異的な役割の解明
6	鈴木孝典 (39歳)	藤田医科大学小児科 特別研究員	小児心筋症の遺伝子型に基づく予後予測モデルの構築
7	中村吉秀 (37歳)	山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学 助教	リアノジン受容体を分子ターゲットとしたドキソルビシン心筋症の革新的予防法
8	橋本昌樹 (33歳)	東京大学医学部附属病院 循環器内科 特任臨床医	心臓周囲脂肪組織を介した心不全発症機序の解明
9	濱野裕章 (38歳)	岡山大学病院薬剤部 講師・副部長	リアルワールドデータを活用したICIs心筋炎予測モデルの国際共同研究
10	増山潔 (38歳)	大阪大学 キャンパスライフ 健康支援・相談センター 助教	モザイシズム心筋症の心筋細胞レベルでの病態にin vivo心臓イメージング法で迫る

第5回日本心臓財団拡張型心筋症基礎研究助成(アイ基金)

(五十音順・敬称略・奨励金額は各200万円)

番号	氏名	所属	研究課題
1	加藤 瑛巳 (44歳)	東京大学大学院医学系研究科 先端循環器医科学講座 特任助教	拡張型心筋症に対する混合ワクチンの開発
2	肥後 修一朗 (49歳)	大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学 講師	心筋細胞介在板障害へ介入する重症心不全精密医療の創出